



アス合材ダンプ運転手の安全確保

荷台に上がらずシートかけ・外し

大煌工業

大煌工業(埼玉県川口市、山下将弘社長)は、18年にリリースしたアスフ

アルト合材運搬車両の荷台シートを電動で巻き上げる装置「オートシート

紐を引きシートをかけるの改良を進め、手動式巻き上げ装置として改めて販売を開始した(特許出願中)。同装置は、工場からダンプトラックが合材を積み込んで一般公道を走行する際、合材の飛散と温度低下を防止するシート

を運転手が荷台に上がることなくかけたり、外したりできるため、転落ややけどを防ぎ安全を確保する。同装置の普及で道路舗装業界に携わるダンプトラック運転手の安全確保と業務負担の軽減に貢献したい考え。

18年11月にリリースした電動巻き上げ装置はシートかけ・外しに時間を要し、またシート格納作業に手間がかかるという難点に加え取扱者(運転手)は労働安全衛生法で規定された「巻き上げ機運転特別教育」の受講が必要だった。同社は大林道路の協力のもと電動巻き上げ装置ユーザーの声を参考に装置を改良し、手動式の巻き上げ装置を完成させた。同装置は同特別教育の受講は不要。荷台に上がらずシートをかけた後、外したりすることができると、荷台からの転落や高温の合材によるやけどを防ぐ。既存車両への後取付けが可能。

使用方法は、かける時は荷台前方上部に配置した巻き取り軸から紐を引っ張ってシートを引き出し、シートを外す時はチェーンを引きシートを巻き取る。シートは軽量でかけ・外しの作業に力を必要としない。従来の電動式よりも短時間で作業は完了する。

標準装備されたシートには新素材(特殊合材シート)十アルミ箔シート)を採用。従来のシート(麻十耐熱シート)に比べて保温性・防水性に優れ、かつ軽量。シートをかけて180分経過後の合材の低下温度は従来のシートがマイナス18.5度だったのに対し、新素材シートはマイナス9.4度と2倍の保温効果を確認している。

林道路によると、既に導入したダンプトラック運転手から「安全に作業を進めることができ助かっている」など高い評価を得ているという。

販売価格は35万円/台(税抜き、送料など別途)。残土タイプの場合は30万円/台(同)。取付けは購入者自身でも可能だが、大煌工業が出張して取付けることもできる。

ダンプの荷台は高所で足元が不安定なため転落の危険性があり、また重いシートを格納する作業の負担や100度を超える高温の合材によるやけどなど、シートのかげ外し作業を行う運転手の安全確保が課題となっていた。

改良に協力してきた大